

鷺 溪 会

忍岡高等学校同窓会会報 2017(平成29年).9.30 No.92

忍岡高等学校同窓会

鷺 溪 会

〒103-0004

中央区東日本橋 2-16-10-504

URL: <http://www.oukeikai.com>

e-mail: oukeikai@ybb.ne.jp

電 話・FAX 03-3851-9889

発 行 鷺 溪 会
編 集 広 報 部

＝ 香 り 高 い 文 化 の 創 造 ＝

鷺溪会100周年

記念祝賀会開催

参加申込み締め切りを10月末まで延期

【祝賀会開催日時・場所】

2017年11月18日(土)

午後2時～4時

浅草ビューホテル

4階 飛翔の間

参加費 10,000円

前回の会報91号で祝賀会の「参加申込み案内」をしたのは4月下旬であったが、開催日までに6ヶ月もあり、予定が見えない方々も多かったと思われる。そのためか8月末時点での参加申込者数はまだ「目標の半分」という状況である。

これから参加申込みをされる方に向け、重ねて祝賀会の「参加申込み案内」をさせていただきますので1人でも多くの卒業生に申し込んでいただきたい。

申込方法は前回同様、「払込取扱票」による(参加費前払い方式)であるが、同期生の方々はもちろんのこと部活等を通じて先輩・後輩の方々をお誘いいただき、積極的な参加申込みを

お待ちしている。

1. 参加申込み方法

①同封の「払込取扱票」に(必要事項)をご記入のうえ郵便局(ゆうちょ銀行)から参加費1万円を払い込む。

なお、払い込み後は、「払込金受領証」を保管する。

②正式な「案内状」を10月末より順次申込者に発送。

2. 申込みに関する補足事項

①祝賀会参加費には「記念誌代」「CD校歌代」を含む。

なお、記念誌は祝賀会の開催模様を掲載するため後日の発送となる。

②申込みは「払込取扱票」による入金確認をもって「正式申込」とする。

祝賀会場 浅草ビューホテル



3. 祝賀会に関する補足事項

当日は、中華料理中心のbuffetスタイルであるが、疲れないよう、着席できるテーブル・椅子を十分に用意する。

4. 開催準備の都合上【10月末日まで】にお申込みいただきたい。

お問い合わせ、ご相談は、ハガキ・手紙・FAX・メール等で鷺溪会事務局まで。※鷺溪会事務局は、常勤者不在のため電話はご遠慮願いたい。

(57期 田中修)



主な記事

・100周年記念祝賀会参加申し込み	10月末日まで延期	1
・定期総会・通常総会報告		2
・同窓の人々		4
・【48期 白石美智子さん】		5
・忍岡ナウ		6
・部活訪問(ダンス部)		6
・同期会報告(40・59・73・32・57期)		7
・振替用紙通信欄より		9
・終身会費・協力金		9
・100周年記念事業		10
・寄付金一覧		11
・私たちが担当理事です		12
・「鷺溪会の百年」記念誌完成間近		12

浅草ビューホテル交通アクセス

つくばエクスプレス TX浅草駅直結	都営浅草線 都営浅草駅から徒歩3分
東京メトロ銀座線 田原町駅から徒歩8分	スカイツリーシャトル上野・浅草線 上野から約12～15分

浅草ビューホテルHP www.viewhotels.co.jp/asakusa

平成29年度 第99回鶯溪会定期総会報告

◎平成29年5月27日(土)

本日の司会佐々木弘理事より紹介を受け、鈴木賢太郎会長は開会の挨拶を述べた。

鶯溪会100周年記念事業は、記念誌編集・祝賀会実行に向け委員が活動中である▽会報91号に祝賀会参加申し込み受付を開始した旨発表し、現在のところ約20名の参加申し込みがある▽会員のみなさんにはお誘いあわせ出席願いたい。

第1部 総会

佐々木弘理事が、議長の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって鈴木賢太郎会長が議長に選任され、議案の審議に入った。

報告及び審議

第1号議案 平成28年度事業報告、決算報告並びに監査報告

林由紀子理事が、次のとおり、平成28年度事業報告を行った。

・会報「鶯溪」発行

第89号 4月24日(日)

第90号 10月29日(土)

・第98回定期総会開催

5月29日(日)

・100周年記念事業準備
祝賀会委員会・記念誌委員会
活動中

・理事会開催 原則として毎月
第2土曜日、月1回開催

・年会費・終身会費・協力金の徴収

・一般社団法人鶯溪会への協力
(事務室管理委託)

・母校との関係強化及び協力
(入学・卒業式、文化祭、学校運営協議会等に参加)

・会員の住所管理(評議員のな
い期)

・会員名簿のデータ化

次に松本眞理子理事が、平成28年度決算報告(資料1)を行い、会計 監査を代表して坂巻篤氏が監査報告(資料2)を行った後、これらを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

・会報「鶯溪」発行

第91号 4月23日(日)

第92号 9月30日(土)(予定)

・第99回定期総会開催

5月27日(土)

・100周年記念事業実施

記念誌発行/祝賀会 11月18日(土) 浅草ビューホテル/校

歌CD作成

第2号議案 役員改選の件

議長の指名により、司会の佐々木弘理事は、鶯溪会役員の任期が満了するため改選の必要がある旨を説明した後、議場に諮ったところ、鈴木賢太郎氏より立候補の申し出があり、満場一致をもって鈴木賢太郎氏の会長再任が可決され、同氏はその就任を承諾した。続いて、会長と同様に会計監査も任期満了となるので、今年度(平成29年度)の会計監査として66期二瓶文隆氏並びに78期杉山由紀子氏を推薦、選任したい旨議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

第3号議案 平成29年度事業計画(案)、収支予算(案)

議長の指名により、林由紀子理事が次のとおり平成29年度事業計画(案)を説明した。

・会報「鶯溪」発行

第91号 4月23日(日)

第92号 9月30日(土)(予定)

・第99回定期総会開催

5月27日(土)

・100周年記念事業実施

記念誌発行/祝賀会 11月18日(土) 浅草ビューホテル/校

歌CD作成

・理事会開催 原則として毎月
第2土曜日、月1回開催

・年会費・終身会費・協力金の徴収

・一般社団法人鶯溪会への協力
母校との関係強化及び協力
会員名簿のデータ化

続いて、松本眞理子理事が平成29年度収支予算(案)(資料3)を説明した後、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決した。

質疑応答事項

問1 100周年記念祝賀会は、何名程度の参加を予定しているのか。

答1 300名の参加を予定しており、5月現在約20名が参加申し込みしている。

問2 鶯溪会報を(老齢により)読めなくなった人にはどう対応しているのか。

答2 本来、忍岡高校卒業生として鶯溪会員資格は続くもの

だが、脱会の申し出はあり、やむを得ず発送を取りやめているケースはある。平成28年度より在校生を準会員とし、卒業時に改めて鶯溪会に住所登録をしてもらっており、会員数は増えているのが現状だ。

問3 44期は同期生にアンケートを取った結果、同期会開催を終了しており、鶯溪会報の発送の作業もできなくなっている。発送作業の外部委託はどうなっているのか。

答3 発送作業の外部委託は、費用等の情報を収集中で検討中である。評議員の方々に集合いただき年2回の発送作業を行うのは困難になってきたと考えている。

最後に100周年記念事業について報告がなされた。

1 記念誌チームⅡ要幸男理事

月1回、打ち合わせ会議を実施し、1期から105期まで取材による記事をまとめているが、1期から30期までは他界されている方が大半なので過去の学校記念誌等から抜粋掲載する。記念誌は「日本の現代史」としてとらえており、資料性の高いものを目指している。祝賀会の様子も盛り込み、11月に発行予定である。

・会報「鶯溪」発行

第91号 4月23日(日)

第92号 9月30日(土)(予定)

・第99回定期総会開催

5月27日(土)

・100周年記念事業実施

記念誌発行/祝賀会 11月18日(土) 浅草ビューホテル/校

歌CD作成

・理事会開催 原則として毎月
第2土曜日、月1回開催

・年会費・終身会費・協力金の徴収

・一般社団法人鶯溪会への協力
母校との関係強化及び協力
会員名簿のデータ化

・会報「鶯溪」発行

第91号 4月23日(日)

第92号 9月30日(土)(予定)

・第99回定期総会開催

5月27日(土)

・100周年記念事業実施

記念誌発行/祝賀会 11月18日(土) 浅草ビューホテル/校



2 祝賀会チーム上原稻子理事

参加申し込み受付中である。
（参加費）1万円は少々高いが、
校歌CD・記念誌代を含んで
おり、ホテルのパーティー費
用は7千円である。当日は各
年代の方々全員が楽しんでい
ただける会となるべく企画中
である。

3 母校への寄付

紅白幕・平成28年3月の卒業式に間に合い、体育館の内側全体を囲む幕を贈呈した。
校歌CD・在校生が校歌を覚える機会がないことから、企画・制作した。CDのジャケットは生徒の応募デザインによる。合唱は千鶯会のボランティア出演により録音制作した。本年3月の卒業式に間に合い、卒業生を始め全校生徒に配布した。今後も毎年入学時にひとりひとりの生徒に配布、祝賀会参加者にも配布する。

問4 祝賀会会場選定に当たって、浅草ビューホテル以外の会場を検討したのか。

答4 いくつかを検討したが、浅草ビューホテルは台東区内であること、以前母校100周年パーティー等に使用したこともあり、（早めの予約受付等）無理を聞いてくれたので

【資料1】 平成28年度収支決算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

収入の部

科 目	金 額	科 目	金 額
会 費		寄 付 金	284,000
入 会 費	0	雑 収 入	28,500
終 身 会 費	1,020,000	総集版@1,500×13冊	(19,500)
年 会 費	910,000	広 告	(9,000)
		受 取 利 息	3,560
		返 却 切 手	26,680
		当 期 損 失	2,079,279
		合 計	4,352,019

支出の部

科 目	金 額	科 目	金 額
会 報 発 行 費	3,029,731	(評議員会延101名)	(101,000)
会 報 編 集 費	(5,280)	(理事交通費実費)	(326,640)
会 報 印 刷 費	(1,066,154)	人 件 費	0
会 報 発 送 費	(1,958,297)	事 務 用 品 費	44,329
教 育 助 成 費	188,447	雑 費	0
母校文化祭参加等	(88,447)	振 替 手 数 料	78,680
薬学部奨学金(1名)	(100,000)	会 室 運 営 費	386,713
対 外 活 動 費	0	インフラ整備費	66,008
議 費	72,537	会 室 管 理 委 託 費	33,800
通 信 費	19,134	同 期 会 助 成 費	5,000
慶 弔 費	0		
交 通 費	427,640		
		合 計	4,352,019

財 産 目 録

平成28年4月1日～平成29年3月31日

科目	平成28年4月1日	平成29年3月31日	備考
現 金	626,077	215,741	
切 手	35,250	48,144	
郵便貯金(ゆうちょ銀行)	5,028,244	5,849,626	
銀行預金(三井住友銀行)	786,403	192,387	
郵便振替(ゆうちょ銀行)	29,190	0	
(小計)	(6,505,164)	(6,305,898)	
定額貯金(ゆうちょ銀行)	6,000,000	6,000,000	終身会費充当
定期預金(三井住友銀行)	6,003,588	6,004,863	基金充当
定期預金(三井住友銀行)	505,795	505,838	基金充当
定期預金(三井住友銀行)	8,001,594	8,003,292	基金充当
定期預金(三井住友銀行)	1,952,502	1,852,668	奨学金積立
(小計)	(22,463,479)	(22,366,661)	
一般社団法人鶯溪会出資金	10,000,000	10,000,000	
一般社団法人鶯溪会基金	11,434,993	11,434,993	
(鶯溪会会室の管理委託)	土地 10,327,576	土地 10,327,576	
(平成25年11月15日移転登記)	会室簿価 1,107,417	会室簿価 1,107,417	
特別会計(100周年記念事業)	△1,132,959	△2,916,154	
預り金(平成27年度1,419,000)			
(平成28年度2,428,000)			
前払費用(平成27年度286,041)			
(平成28年度644,805)			
計	49,270,677	47,191,398	
前期との差額	△1,696,826	△2,079,279	



【資料3】 平成29年度収支予算（案）

平成29年4月1日～平成30年3月31日

収入の部

科 目	金 額	科 目	金 額
会 費		寄 付 金	500,000
入 会 費	0	雑 収 入	30,000
終 身 会 費	1,000,000	受 取 利 息	3,000
年 会 費	1,300,000	当 期 不 足 金	1,417,000
		100周年記念事業収入	7,000,000
		合 計	11,250,000

支出の部

科 目	金 額	科 目	金 額
会 報 発 行 費	3,060,000	交 通 費	400,000
会 報 編 集 費	(10,000)	人 件 費	0
会 報 印 刷 費	(1,100,000)	事 務 用 品 費	40,000
会 報 発 送 費	(1,950,000)	雑 費	0
教 育 助 成 費	100,000	振 替 手 数 料	80,000
対 外 活 動 費	10,000	会 室 運 営 費	380,000
議 費	70,000	インフラ整備費	30,000
通 信 費	15,000	会 室 管 理 委 託 費	35,000
慶 弔 費	10,000	同 期 会 助 成 費	15,000
		予 備 費	5,000
		100周年記念事業費	7,000,000
		合 計	11,250,000

【資料2】

平成29年5月13日
鶯 溪 会
会計監査
坂 巻 篤
小 川 雅 江

監査報告書

平成29年5月13日、理事から提出された平成28年度収支決算書・財産目録を監査のため、会計に関する帳簿・書類を閲覧し、理事からの報告の聴取をしたところ、正確かつ適正であることを認めます。

第13期財産目録

平成29年3月31日

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
【流動資産】	【8,717,024】	【流動負債】	【 0】
現金	89,812		
預金	8,627,212		
普通預金			
三井住友銀行			
浅草橋支店	8,627,212		
【固定資産】	【11,434,993】	【固定負債】	【 0】
鶯溪会会室	11,434,993		
(東京都中央区東日本橋 2-16-10-504)			
資産合計	20,152,017	負債合計	0
差引正味財産			20,152,017

貸借対照表

平成29年3月31日

資産の部		負債および資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【8,717,024】	【流動負債】	【 0】
現金	89,812		
預金	8,627,212		
【固定資産】	【11,434,993】	【固定負債】	【 0】
鶯溪会会室	11,434,993		
		負債合計	0
		【資本】	【10,000,000】
		出資金	10,000,000
		【基金】	【11,434,993】
		提出者同窓会鶯溪会	11,434,993
		【欠損金】	【△1,282,976】
		当期末処理損失	△72,942
		前期繰越損失	△1,210,034
資産合計	20,152,017	資本合計	20,152,017
		負債・資本合計	20,152,017

損益計算書

平成28年4月1日～

平成29年3月31日

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
【事業費】	【 0】	【事業収益】	【 0】
【一般管理費】	【36,816】		
通信費	3,016		
会室管理費	33,800		
(会室固定資産税)			
【事業外費用】	【70,000】	【事業外収入】	
法人都民税(均等割)	70,000	会室管理委託費	【33,874】
		(同窓会鶯溪会より)	33,800
【当期損失金】	【△72,942】	受取利息	74
合計	33,874	合計	33,874

平成29年度収支予算(案)

平成29年4月1日～

平成30年3月31日

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
【事業費】	【 0】	【事業収益】	【 0】
【一般管理費】	【43,000】	【会費収入】	【 0】
1. 通信費	3,000		
2. 鶯溪会会室管理費	40,000		
(固定資産税等)			
【事業外費用】	【70,000】	【事業外収入】	【115,000】
1. 法人都民税等	70,000	1. 受取利息	100
		2. 同窓会鶯溪会より	40,000
		管理委託費	
【予備費】	【2,000】	3. 不足金	74,900
合計	115,000	合計	115,000

平成29年5月27日(土)に一般社団法人鶯溪会の第13回通常総会を開催、出席者11名、委任状13名計24名により定足数を満たし有効に成立した。

一、平成28年度事業報告、平成29年度決算報告並びに会計監査報告、平成29年度事業計画(案)、平成29年度収支予算(案)が承認された。

二、代表理事が任期満了となるところ、現代代表理事の鈴木賢太郎氏が立候補し、再選された。また、監事の坂巻篤、小川雅江両氏も任期満了となり、代表理事の推薦により、二瓶文隆氏(66期)並びに杉山由紀子氏(78期)が選任された。



損失処理案

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

I 当期末処理損失	
当期損失	72,942
前期繰越損失	1,210,034
計	1,282,976
II 次期繰越損失	1,282,976

監査報告書

平成29年5月13日理事から提出された平成28年度財産目録、貸借対照表、損益計算書及び損失処理案を監査のため会計に関する帳簿、書類を閲覧し、理事からの報告の聴取をしたところ、正確かつ適正であることを認めます。

平成29年5月13日
一般社団法人
会計監査
鶯溪会
坂巻 篤
小川 雅江

平成29年度 第13回社団法人鶯溪会通常総会報告

平成29年度 事業計画(案)

- ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
- ⑦ その他上記に付随する事業協力
- ⑥ 00周年記念事業への準備
- ⑤ 開催の同窓会鶯溪会設立100周年記念事業への準備
- ④ 懇親会の開催
- ③ 母校(都立忍岡高等学校)関係事業への協力
- ② 社員の募集・社員名簿の整備
- ① 第13回通常総会の開催5月27日(土)
1. 定款に基づき下記の事業を行う
- I 実施事業
- 至 平成29年4月1日
- 自 平成30年3月31日

同窓の人々

学校薬剤師として四十二年

白石美智子さん（48期）

今年の5月初旬に48期白石美智子さんより、「学校薬剤師として40年務めたことにより、瑞宝双光章をいただくことになりました。これもひとえに忍岡高校に学んだことが自分の基礎になったので、感謝の気持ちを表したく、母校に100万円を寄付したい。先輩に倣い薬学部進学者への奨学金として役立ててほしい。」とお申し出をいただいた。

非常にありがたいお申し出に鶯溪会理事一同感激し、早速、現在も薬剤師として活躍中の白石美智子さんのご自宅へ伺いました。

白石さんは、東京で生まれ3歳のときに母上を亡くされ、ほどなく祖父母のおられる埼玉県越谷市に転居し、昭和32年忍岡高校に入学した。小学校時代はひ弱だったが、高校入学のころはだいぶ丈夫になり遠距離通学も苦にならず、勉学に励んだそう。特に物理・化学は得意の科目で祖父母から「将来、独立できる資格をとる」ように勧められ、薬剤師を目指し東京薬科大学を受験、みごと合格した。昭和39年3月に同大学卒業後すぐに国家試験・薬剤師の免許を得ている。以来、薬剤師として

経験を積み、昭和50年4月から、浦和市立大谷口小学校の学校薬剤師に就任。平成16年には埼玉県薬剤師会の会長として学校保健教育・学校環境衛生検査活動等、現在に至るまで積極的に取り組んでおられる。平成17年には、「藍綬褒章」を、今年平成29年春の叙勲では「瑞宝双光章」を受けられている。



平成29年5月 瑞宝双光章授与のとき



瑞宝双光章（左）と藍綬褒章（右）

し学校卒業後は表千家茶道を究め、表千家茶道教授の顔も持ちでご自宅の茶室で月に3回茶道を教えておられる。私達にも

とてもおいしいお茶をたててくださった。

学校薬剤師と茶道を活かし、小学生への授業として『室町文化体験教室』『薬物乱用防止教室』を教えている。「室町：」では、茶の湯の歴史、正式なお茶の飲み方を教える。実際にお茶を立てて生徒に飲んでもらうそう。『薬物乱用：』の授業は、たばこの害・アルコール摂取への警告を内容としており、授業を受けた生徒から「たばこ、アルコールを勧められてもきつぱり断ります」との素直な感想文に「たいへんやりがいを感じている」という。

埼玉県薬剤師会の月刊情報誌には、今年の6月まで13年間毎

月欠かさず、同会長として執筆され、多忙な毎日だが趣味の写真撮影にも国内外を問わず夫婦で出かけ、現地ではご自身でも車を運転されるエネルギーが素晴らしい。63期の佐々木理事と55期の筆者もお会いしたときからお宅をあとにするまで、ずっとそのパワーに圧倒されっぱなしであった。



おいしいお茶をいただいた



佐々木理事(右)西澤理事(左)

白石美智子さん、ほんとうにご寄付ありがとうございました。有効に「奨学金」として利用させていただきます。

忍岡ナウ

母校ホームページより転載

◎平成29年5月2日

校外学習が実施されました。
1年生は、千葉県館山へ田植え体験です。泥の田圃に入り田植えを行いました。秋の収穫が楽しみです。



初めての田植え体験



横浜中華街にて

2年生は、横浜探訪です。横浜開港資料館・シルク博物館・神奈川近代文学館等を見学、12月の沖縄修学旅行に備え班別行動練習ができました。

◎平成29年6月2日

リバーサイドスポーツセンターにおいて、体育祭が実施されました。今回は、赤団が優勝しました。



《ダンス部》



一曲踊る度に汗が噴き出る。短い休憩時間にはステージ前に置かれた大きな箱型の送風機の前に人だかりが出来る。締め切った4階の講堂はサウナ状態だ。夏休み中だがダンス部の活動は週5日。つまり毎日。9月の蓬莱祭の発表に向け練習に余念がない。

ダンスはヒップホップ。振付、

部活訪問

◎平成29年9月8日(金)・9日(土)

文化祭開催
今年のテーマは『百花斉放』です。

「百花」は、さまざまな花のことであり、「斉放」は、いっせいに開くということだ。特に文芸・芸術の分野において、形式や風格を異にする作品が自由に創作・発表さ



れることを意味し、文化祭にふさわしいテーマです。
(「忍祭」プログラム
岡島校長挨拶より)



9日(土)は、保護者、同窓生が訪れ、今年初めて参加した生活科学科3年生による「中華蓬莱弁当」が人気で、すぐ売り切れてしまった。グラウンドでの「縁日」は天気にも恵まれ、最後まで賑わった。

選曲すべて自分たち。ネットに載っている好きなアーティストや気になる振りを参考に作って創りあげる。

部員は36人。3年生はこの蓬莱祭が最後の舞台となる。1・2年生はその前にダンスリーグでの発表もある。これは(社)インストラクター協会が開催する高校生の対外試合だ。

ダンス部の活動は新入生歓迎会に始まって体育祭での応援団の仕切り、年2回のダンスリーグ、東京都女子体育連盟の発表会など数多い。放課後は毎日のように練習していることになる。みんなダンスが好きなのだ。

中学校の体育でダンスが必修



ダンス部 忍祭公演のコスチュームで



懸命な練習が続く

になったのが、2012年。「創作ダンス」「フォークダンス」そして「現代的なリズムのダンス」つまりヒップホップの3つの中から選ぶ。リズムに合わせて体を動かすことが自然な世代なのである。

部員たちのほとんどは卒業後、体育大やダンスの専門学校に進むわけではない。これだけ懸命に踊るのは恐らく高校の3年間だけだろう。しかし、それは楽しかった肉体の記憶として長く残るはずだ。みんなのイキイキとした表情と笑顔が印象的だった。

55期 要 幸男

取材協力・小林なおみさん、真多かすみさん、大島ほのかさん、岸一葉さん、顧問・中山恵子先生

同期会報告

40期同期会

40期 村木 通輝

わが同期会の功労者のひとり、山口幸子さんの「少しずつうれゆく記憶力」されど忘れまいぞ 忍四十 大切な友を」この言葉どおり、4月5日、うなぎ料理の老舗「神楽坂志満金」で開催されました。うなぎの寝床ならぬ、広い会場に、出席者31名が集いました。

あちこちで談笑の花が咲いたこの「楽しくて不思議な空間」は、グループ間の交流もあって大いに盛り上がりました。私も絵手紙、似顔絵の「入選ファイル」を持参、披露しました。

「楽しい時間は早く過ぎる」の例え通り、予定された時間はあっという間に過ぎ、次回の再会を約して、閉会となりました。それにしても、忍を卒業してから65年、毎年同期会が開かれることは、誠にうれしい限りであり、誇りでもあります。

さて、閉会後は9名のグループで志満金真向かいの「カラオケの鉄人」に直行し二次会となりました。みなさんの美声に聞

き惚れました。私も贈る言葉「サボテンの花」などを披露し、ではイマイチですが、歳の割には、声が出せて気持ち良く歌えました。

幹事の加賀君、安藤君、河村さん、松井さん、泉さん、矢倉さん、楽しい会を過ごさせていただき、本当にありがとうございました。



NHKステラ2017.7.7.29号に掲載の似顔絵



産経新聞2017・8・1付 朝刊に掲載の絵手紙

「忍の思い出」満載

59期 中西（青木）美子

今年も昨年同様三社祭りの5月20日（土）に、恒例になっている同期の集まりを大山氏の店「安楽亭」で午後6時から行いました。今年は「つくば」にお住まいの石川純子さんが出席してくださり、約20名の方の参加をいただきました。

初めて参加してくださった石川さんを中心に話が弾み、飲み物もノンアルコールからビール・日本酒と幅広く、大山氏の美味しいお料理をいただきなが



ら思い出話から現在の様子までの経つのを忘れ楽しい時間を過ごしました。

学生時代の仲間の素晴らしさ！

話始めるとすぐに50年をタイムスリップして、学生時代まで遡ります。授業のこと、部活のこと、恩師の話等々、懐かしい話に花が咲き、打ち解けるのに時間がかりません。今回も「忍の思い出」満載でした。

しばらく歓談の後、評議員の吉田一正氏より恩師及び同期の方の近況報告をいただきました。また、出席をいただきました皆様の近況報告の後、前回の同期会開催より5年が経過しましたので、出席者の意見を取り纏めた次回の同期会の日程を来年2月18日（日）に決定致しました。同期会の場所・時間等のご案内は、別途させていただきます。鶯溪会100周年記念式典・同期会への多数の方のご参加をお願いいたします。

73期 同期会

73期 菊地（遠田）百合子
平成29年5月20日（土）上野精養軒にて、前回から約10年ぶりに73期の同期会を開催いたしました。52名の同期生が全国から駆けつけてくれ、佐藤五月先生、

堀口眞先生、千金樂喜一先生にもご出席いただきました。

卒業以来初の再会？という方も多かったのですが、すぐに当時に戻って懐かしい話に花を咲かせたようです。高校時代の写真を使つてのスライドショーと遠方在住で出席できなかった方々のビデオメッセージを流したり、参加者全員による1分間近況報告などをするうちにあつという間に閉会の時間を迎えました。二次会、三次会にもほとんどが参加して、とても楽しく



刺激的な一日でした。

残念ながら今回欠席だった方々もぜひ次回お会いできることを楽しみにしています。次回は5年後くらいの開催を予定していますが、もう少し頻度を上げて集まろう！という話も出ましたので、もしかしたら来春またお声かけがあるかもしれません。

そのときまで皆様お元気でお過ごしください。楽しい一日でありがとうございました。

50周年同期会

55期 鍋田心衛

われわれ55期生は以前から毎年同期会を開催し続けていたが、幹事の変更やわがままを聞いてくれた同期生店主の病気等により、昨年は開催できませんでした。今年も準備不足で、ほぼ開催不可能かと考えていたが、卒業からちょうど50周年ということもあり、「だめ、絶対やれよ！」という意見があり、急遽4月発行の会報「鶯溪」の封書に「場所は未定、開催日時5月28日12時、会費予定5千円、参加希望者はメールか電話で幹事まで連絡を・・・」というお知らせを同封したところ、お蔭様で30名程の申し込みがありました。



予定人数に合わせて、泥縄でしたが浅草橋近辺で会場確保を試みたところ、幸いにもスペイン料理の店（スペインバル「バリーカ」）が、本来休業日の日曜日を貸切営業するとのこと、無事開催できました。

若干の人数変更はあったものの、当日は真夏並みの炎天下でしたが全員が出席し、話題は各自の病氣自慢？から始まって、甘味処「曙」の綺麗なお姉さんや、焼きそばしかできなかった老夫婦の店、昼休みに塀越しに

コーラを売ってもらい、飲みながらしたザリガニ釣り、恩師の話題では、なぜか生活指導の田中則夫先生との数々のバトルが懐かしく語られ、そんな他愛ない昔話に花が咲きました。

卒業後の進学・就職・結婚・転職・転勤・子育て、etc、それこそ半世紀の間には、どんな「日く因縁、故事来歴」があったとしても「朋有り、遠方より来たる。亦た楽しからずや。」となり、語りきれずにそれぞれ二次会へと流れていきました。

準備不足の同期会でしたが、参加できない人からの励ましメール、参加者からの謝辞等をいただきありがとうございました。来年の古希の祝いは準備万端：の前に、そう、今年の11月の100周年記念祝賀会で再会いたしましょう！皆さんの参加をお待ちしています。来てくださいね。

年相応の健康な体と心のゆとりを持って、いつまでも楽しかった高校生活を共有していきたいでしょう。

みそじ会

32期 松島和恵

風薫る5月の末、上野の森はまさに緑一色におおわれていました。その中一年ぶりに上野精



時の経つのを忘れ時刻やと腰をあげ帰途につきました。

大分歳を重ねてきましたが、次回も何とか元気でお会いできることを念じて、手を振りながらのお別れとなりました。

57期同期会

57期 田中修

前回の同期会は2011年の「還暦同期会」であったが、今回は全員が「前期高齢者」での開催となった。

開催準備のための初会合が2月に行われ、11月の鶯溪会祝賀会に先駆け9月2日、ホテルパークサイド上野での開催が決まった。とは言え残暑の厳しさが続くなか出席者は70人くらいという想定であったが、蓋を開ければ100人という大盛況であった。

また欠席者からは「介護のため」というメッセージが数多く寄せられ、感慨深いものがあった。

今回好評だったのは「卒業時の顔写真入りの名札」であった。お互いに50年前の顔写真を見て大いに盛り上がったわけであるが、同期生と話す時はいつでも「あの頃」に戻れるのが嬉しかった。

また、50円玉で作ったペンダ

鶯溪会も 文化祭に参加

平成29年9月9日(出)

恒例となりつつある、文化祭参加、「“忍”の100年を見に行こう!!」がテーマだ。

鶯溪会の年表や100周年記念誌のほんの一部を展示し、創立100周年記念を強調した展示とした。

希望者に「校内ツアー」を実施し、先輩達は、4階にあるプールに驚き感心することしきりだった。



展示室内

展示室前

4階プール



ントを首に掛け、2人1組でジャンケンをして勝者が敗者のペンドラントをもらって首にかける「勝ち抜き戦」を全員参加で行った。ヤラセなしのガチンコ勝負であったが、浜名先生が最後の決勝まで勝ち進んだのは驚かされた。優勝は(旧姓)松本さんで全員のペンドラントを総取りした瞬間は最高に盛り上がった。あつという間に時が過ぎ、次の開催については特に触れないまま「お開き」になったが、「今度は東京オリンピックの年、古希の年に！」が暗黙の了解事項になったようだ。そして「浜名先生 必ずまた元氣にお会いしましょう」と約束して解散した。

振替用紙通信欄より

旧職員 中園 靖雄

100周年おめでとうござい
ます。残念ながら昨年来ヒザの
関節炎になやまされています。
ご盛会を祈ります。

第42期 加藤 威郎

百周年記念パーティ、楽しみに
しています。子供の頃、国際
劇場で漫画映画を見たことを思
い出します。

第42期 堀部 孝子(石黒)

G.W真最中、やっと桜が満
開になりました。唐松も黄緑色
の可愛い芽を出しました。今
ほととぎすの音がきこえてきま
した。(北軽井沢在住)

第48期 大久保 信隆

先輩加藤さん元氣でご活躍を
拝見感激です。

第49期 松本 久美子(重高)

100周年おめでとうござい
ます。演劇部で過ごした青春で
した。榊原政常先生はじめ皆様
の顔が思い出されます。

第52期 大門 幸子(村山)

忍の演劇部の先輩方にお会い
してお榊の話を伺いたいです。
祝賀会楽しみにしています。

第53期 中澤 建樹

鶯溪会100周年おめでとう
ございます。福祉の経験を生か
し成年後見人をしています。

第55期 山縣 正

7月30日(日)忍岡にて軟式
庭球部大OBOG会を行います。
楽しみです。

第58期 永島 誠豊

皆さん、お元気ですか!! 私
は1年、岡村先生、2年、近藤
先生、3年、中園先生が担任で
した。目立たない、無口でもあ
りましたので、クラスでの存在
感が無かったと思います。大学
卒業後、横浜市福祉職(ケース
ワーカー)35年、現在は鍼灸師、
あんまマッサージ、指圧師です。
名を誠豊に変更しました。

第61期 坂本 良一

忍岡の私の恩師(担任)はお
元氣でしょうか。先日、竹早高
校のクラス会では恩師と呼ばれ
楽しいひと時でした。若者は良
い。

第64期 林 由紀子

同期の友人、女子バレー部の
OBの方々にお会いできるのを
楽しみにしています。サンボ

千鶯会だより

32期 吉岡真玉

今年の台東区合唱祭は例年通
り、上野の芸大内の奏楽堂で10
月15日(日)に開催されます。

千鶯会は、鶯溪会が百周年を
迎える記念の年にちなみ、旧校
歌、新校歌(現在歌われている
校歌)そして第二校歌とも言わ
れ歌われている「花」(滝廉太
郎作曲)の三曲を演奏します。

「文を好むと名におひて」で
始まる旧校歌は、佐佐木信綱作
詞、信時潔作曲で昭和三年に制
定されました。「櫻咲く春は上
野の山風かすみ」で始まる新校
歌は、土岐善麿作詞、石桁真礼
生作曲で昭和二十八年に制定さ
れました。どちらも素晴らしい先
生の作詞作曲で誇らしい校歌で
す。

千鶯会の出演時間は11時50分
から10分間です。どうぞ会員の
皆様、なつかしい校歌を聞きに
大勢ご来場下さい。

尚校歌は、鶯溪会百周年記念
祝賀会でも歌います。

お問い合わせは

〇四七—三三九—一五三四

米内まで

終身会費納入者一覧 (平成29年3月11日～8月20日)

(敬称略)

39期 竹内登美子	48期 西山由美子	58期 安倍 勇	65期 登玉 郷子	73期 中矢 麗子
41期 藤澤 美枝	49期 野口 宏子	58期 田中須美子	66期 志水 光江	81期 八代 陽子
42期 山田 康子	53期 三田 悦子	59期 西本美弥子	67期 横山 理恵	
48期 片岡 恵子	56期 入江 邦雄	64期 新井由美子	70期 田中 元子	*払込取扱票の「送金 内訳」欄は必ずご記 入ください

鶯溪会協力金納入者一覧 (同上)

単位：千円 (敬称略)

25期 春田 政江 4	39期 関田 美恵 30	48期 赤尾 道彦 2	55期 蓮見 司朗 1	61期 坂本 良一 2
30期 工藤ふ志子 2	41期 井村 洋子 30	〃 倉持 武宏 1	56期 石川 千恵 1	64期 新井由美子 2
31期 山崎 敏子 2	〃 松丸 富江 1	〃 大久保信隆 10	〃 仲村 洋子 4	65期 登玉 郷子 1
32期 松島 和恵 2	〃 大庭 豊子 2	〃 水野 正行 5	57期 鈴木 雅博 2	66期 志水 光江 2
35期 平田 キヨ 3	43期 尾竹 福也 5	50期 大富佐智子 2	〃 松本真理子 3	70期 浦野 由美 2
36期 山崎喜代子 2	46期 安斎 佳子 31	52期 大門 幸子 2	58期 佐藤 康雄 5	71期 石井 寿江 2
38期 岩丸 栄 4	〃 古川 光子 5	54期 谷内 修 2	〃 宮本 弘明 1	
39期 石川 秀子 1	47期 間篠 秀行 2	55期 田代 周司 1	〃 日下部京子 1	

100周年記念事業寄付金一覧

単位：1口3千円 (敬称略)

26期 故 村井 政子 10	44期 柏 木 勝子 2	53期 大 川 彰子 1	63期 太 田 則子 1
30期 平 野 喜代子 1	45期 米 内 みさ 5	〃 三 田 悦子 1	〃 横 山 友紀 1
31期 山 崎 敏子 1	〃 米 山 八千代 1	54期 森 清 美 1	〃 大 塚 泰江 1
〃 清 野 君代 2	〃 一 宮 園子 1	〃 中 村 幸江 10	〃 六 角 美智子 1
〃 中 田 豊子 1	〃 楠 本 鎮夫 1	〃 谷 内 修 1	〃 山 上 啓子 1
32期 柳 下 光子 1	〃 前 野 孝子 3	〃 碓 井 孝子 3	〃 佐々木 弘 1
33期 鎌 田 ヒロ子 1	46期 安 斎 佳子 3	55期 要 幸 男 3	〃 中 原 三佐代 1
36期 安 達 鈴子 1	47期 田 口 彰男 3	〃 田 代 周司 3	〃 阿 曾 保子 1
〃 金 坂 千代子 1	〃 間 篠 秀行 1	〃 井 上 延子 5	64期 近 藤 孝 1
〃 島 崎 富久子 1	〃 服 部 昌子 1	〃 蓮 見 司朗 3	〃 林 由 紀子 10
〃 岩 上 なつ子 1	〃 木 村 禮子 5	〃 辰 馬 信男 3	〃 五 十 畑 雅司 1
38期 飯 島 トヨ 1	48期 赤 尾 道彦 1	56期 藤 井 高志 1	〃 新 井 由美子 1
〃 豊 田 静枝 1	〃 大 久 保 信隆 10	〃 仲 村 洋子 2	65期 登 玉 郷子 1
〃 岩 丸 栄 2	〃 水 野 正行 5	〃 細 谷 たき子 1	〃 村 越 俊文 1
39期 竹 内 登美子 1	〃 西 山 由美子 1	57期 鈴 木 雅博 2	66期 志 水 光江 1
〃 渡 邊 和子 10	〃 梶 野 美佐子 10	〃 吉 澤 文代 1	〃 山 内 通 1
〃 石 川 秀子 1	〃 片 岡 恵子 3	〃 荻 原 由人 1	70期 山 本 秀雄 1
〃 関 田 美恵 5	〃 石 渡 司郎 3	〃 原 田 記文 1	〃 田 中 元子 1
〃 山 口 道子 10	49期 大 貫 洋子 1	58期 安 倍 勇 1	〃 村 山 茂則 1
〃 武 居 寿 1	〃 長 井 秀子 1	〃 中 奥 裕子 3	71期 石 井 寿江 1
40期 山 田 玲子 1	〃 野 口 宏子 1	〃 水 野 智之 1	〃 三 本 菅 豊 1
41期 松 丸 富江 1	〃 松 本 久美子 1	〃 永 島 誠豊 1	72期 正 木 富志子 2
〃 木 村 恵子 3	50期 深 沢 利子 1	〃 日 下 部 京子 3	73期 会 田 和 広 1
〃 藤 田 房子 1	〃 大 富 佐智子 2	59期 酒 井 郁子 1	〃 内 田 元寿 2
42期 川 口 節子 1	〃 野 田 英夫 3	〃 村 越 和弘 2	81期 八 代 陽子 1
〃 宮 尾 美代子 1	51期 吉 川 達子 2	〃 吉 田 一正 1	89期 江 崎 晋一郎 1
〃 加 藤 威郎 1	52期 吉 添 四郎 1	〃 匿 名 1	104期 中 嶋 萌花 1
〃 山 田 康子 1	〃 大 門 幸子 1	60期 荒 井 幸子 1	
43期 田 辺 悦子 1	〃 高 橋 泉 1	61期 六 本 木 建 1	281口 843,000円
〃 尾 竹 福也 15	〃 指 田 孝子 1	〃 押 尾 俊司 1	(平成29年4月1日
〃 本 田 裕子 1	53期 小 俣 文宣 5	〃 鈴 木 勝也 2	～平成29年8月30日現在)
44期 榎 本 晃子 1	〃 鈴 木 賢太郎 10	〃 水 島 秀勝 10	同封の振替用紙にて受け付けています

私たちが担当理事です



副会長 佐々木弘(63期)
つい最近副会長に就任しました



副会長 上原稲子(54期)
鶯溪会のことなら何でも聞いてください



副会長 木村禮子(47期)
会計担当、法人鶯溪会の会計も



会長 鈴木賢太郎(53期)
100周年記念事業実行まであとひと踏ん張り



西澤俊子 (55期)
会報の編集担当、締切と会室の整理整頓に厳しい



藤井悦子 (55期)
終身会費のまとめと、会計新システム導入に取り組んでいる



中西弓子 (53期)
名簿データ入力担当、そして今は記念誌完成に向けて汗をかいている



早川和子 (47期)
本田さんと同じく会費、協力金等の入金記帳担当



本田裕子 (43期)
会費、協力金・寄付金の入金記帳担当



林 由紀子 (64期)
なんてたって、一番若い！？ので、よく働きます



須賀和男 (62期)
鶯溪会ホームページ担当、なかなか理事会に出られないが、やる時はやるのだ



松本真理子 (57期)
会計担当、決算のときは、特に緊張！



田中 修 (57期)
名簿データ化担当、目下、祝賀会の参加者数を増やすことに頭を悩ましている



要 幸男 (55期)
記念誌編集作業を中心に活動中、先輩・後輩に精力的にインタビュー

計 報

(敬称略)

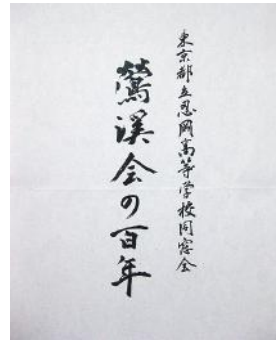
期 別	氏 名	旧 姓	ご逝去年月日
旧職員	矢 吹 英 子		平成29年 2 月
26・2	松 崎 登 美 子	松 田	平成28年 9 月12日
26・3	村 井 政 子	高 橋	平成28年 6 月24日
27・1	大 崎 恵 子	川 上	平成29年 4 月 1 日
27・1	秋 田 千 鶴 子	高 木	平成28年 7 月22日
28・1	梅 沢 芳 子	福 室	平成28年11月28日
30・4	日 置 さ く	石 村	平成29年 8 月 5 日
30・3	菊 地 左 余 子	河 野	平成28年 8 月
30・4	石 井 二 三 子	結 束	平成28年 9 月20日
30・4	中 井 愛 子	林	平成28年11月 3 日
31・3	小 野 初 枝	桃 沢	平成27年11月19日
32・-	伊 藤 節 子	倉 持	平成29年 5 月 6 日

期 別	氏 名	旧 姓	ご逝去年月日
33・-	小 倉 節 子	永 島	平成28年 6 月17日
34・-	須 藤 喜 代 子	沼 尻	平成29年 1 月27日
40・D	大 島 知 子	市 川	平成29年 3 月19日
44・E	森 口 千 恵 子	太 田	平成29年 2 月 9 日
46・F	加 藤 衣 恵	吉 村	平成28年10月
52・A	高 田 勝 男		平成29年 4 月
52・D	菊 地 日 出 雄		平成29年 5 月
54・C	木 藤 栄 二		平成29年 8 月 7 日
57・C	和 泉 光 明	高 石	平成26年10月28日
58・D	杉 廣 三 郎		平成29年 6 月23日
59・D	野 原 庸 市		平成28年12月26日
73・D	福 本 進		平成28年10月

皆様のご冥福をお祈りします。 合掌。

「鶯溪会の百年」 記念誌完成間近

100周年記念誌の表紙が決まり、完成が近づいている。表紙の題字は、47期の鬼頭墨峻（泰夫）氏に書いていただいた。総ページ数は150ページを超えそうだ。



100周年記念誌表紙

記念誌の編集を手掛けて足かけ2年近く、実行委員一人一人が取材に走り、努力した結果を会員の皆様にとのうに受け止めていただけるか、楽しみでもあり不安でもある。

取材に関しては、依頼したところの方も快く受けていただき本当に感謝している。

とはいえ、すべての方に話を伺えたわけではなく、聞き漏れたことや記憶違いの部分もあることは、どうかご容赦いただきました。

忍岡という学校の長い歴史を感じていただき、ご自分たちの学生時代を振り返ることができればと実行委員一同願っている。

改めて100年の歴史を振りかえり、この記念誌の編集作業に、自分の忍岡への郷愁とこれからの忍岡を担っていく後輩への思いとが重なってきている。

記念誌は祝賀会参加者に祝賀会の模様を織り込み完成させ、12月初旬に送付する予定である。祝賀会に参加できなかった場合は、ご希望者に郵送するので申し出ていただきたい（申し込み方法、価格等は、次号会報にご案内予定）。

53期 中西弓子

アルバム寄贈

100周年を前に大先輩から卒業アルバムが寄贈された。昭和5年（鈴木正さん）、昭和15年（市川やゑ子さん）、昭和17年（中山優子さん）の卒業生のもので、いずれもそれぞれのご遺族から届いた。卒業アルバムを手にとると、傷みがひどいのだが、長い年月、先輩が女学生時代の友の姿に励まされ、勇気を得て生きてきたことがわかる。戦火をくぐり抜け、その存在すらも輝かしく感じる。

貴重な思い出の詰まった卒業アルバムをご寄贈くださったご遺族のお心に深く感謝している。

54期 上原稲子

理事活動記録

4月15日	宛名ラベル作成	7月8日	会報92号編集会議・理事会開催
4月18日	会報91号発送準備	7月9日	100周年祝賀会打合せ
4月22日	100周年記念誌編集会議	7月22日	100周年記念誌編集会議
4月23日	91号会報発送作業実行	8月7日	文化祭打合せ
4月24日	在校生91号会報配布	8月11日	「部活訪問」取材
4月30日	名簿データ整理	8月12日	文化祭招待状発送
5月13日	平成28年度決算処理	8月22日	理事会開催
5月13日	会計監査	8月27日	祝賀会参加者名簿入力
5月13日	理事会開催	8月27日	100周年記念祝賀会打合せ
5月20日	100周年記念誌編集会議	8月30日	会報92号発送日
5月26日	定期総会・通常総会の準備	8月31日	案内通知発送
5月27日	第99回定期総会・法人鶯溪会第13回通常総会開催	9月2日	会報92号入稿
6月3日	100周年記念誌編集会議	9月7日	100周年記念誌編集会議
6月10日	理事会開催 佐々木理事副会長就任	9月9日	文化祭展示準備
6月14日	学校運営協議会（鈴木会長）	9月16日	文化祭参加・会報92号第1回校正
6月15日	100周年祝賀会打合せ	9月19日	理事会開催
6月21日	名簿データ整理	9月21日	会報92号校了予定
6月24日	100周年記念誌編集会議		
6月24日	「同窓の人々」取材		



◆編集後記◆

鶯溪会100周年記念祝賀会の参加申し込みが始まり、どの位参加してくれるのだろうか、固唾を呑んで注目している。例年10月発行の秋の会報を今年だけは9月に早め、祝賀会への参加申し込みが増えることを期待している▽記念誌は、ようやく取材を終え、校正の段階に入った。表紙のタイトルが「鶯溪会の百年」に決まり、47期の書家鬼頭墨峻さんに揮毫いただいた。装丁、目次等が具体化していくと記念誌実行委員の面々もより意気込みが増していくのがわかる▽9月の会報発行のため残暑厳しい8月末が原稿まとの日々となった。▽今回の題字は64期高島（宇留野）みどりさんに揮毫いただいた。

広報部

91号訂正

*9ページ 訃報

正…大澤加寿江

誤…大澤加壽恵

*10ページ 寄付金一覧

正…草間真理子

誤…草間英理子